

第6回青谷地域振興会議議事概要

日時：平成28年11月17日（木） 午後3時00分～4時50分

会場：青谷町総合支所 第2・3会議室

【出席委員】

高橋克己、鱸雅子、長谷川和郎、鈴木光頼、瀧洋子、津本和美、松岡礼子、長谷川英二、上田洋子

以上9名（敬称略）

【欠席委員】

濱江康雄、奥谷吉男、北村佳子

以上3名（敬称略）

掲載

【事務局】

山本支所長、武田副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局青谷町分室長）、秋田市民福祉課長、房安産業建設課主幹、中島水道局青谷営業所長、長田地域振興課課長補佐

【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - 1) 新市域振興ビジョン推進計画の進捗について
 - 2) 委員提案について
 - 3) その他
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

◎議事概要◎

新市域振興ビジョン推進計画の進捗について

【委員1】11月27日に、あおいち会場を散策し、あおや和紙工房でラベルを作る等のイベントが新聞に掲載されていた。あおいちと連携していることは良いことだと思った。

【委員2（このイベントの関係者）】青谷町を紹介していくための一つの策として実施してみようとのことである。

【委員3】青谷地域から池田市に農産物の販売等に行っているが、今後は池田市から人が来ることを考えた方がよいのではないか。

【事務局】現在は、池田市民カーニバルと農業祭に参加し、農産物等を販売したり、少年野球の交流をしています。迎えることについては今後の課題だと思います。

【委員4】ある店に行った時、青谷地域の素敵な観光マップが置いてあった。活用していけばよいと思う。

【事務局】昨年作成した観光マップです。池田市にも設置するよう考えています。

委員提案について

【提案委員】青谷図書室について、たくさんの人に利用してほしい、子どもも大人も本に親しむ環境を作ろう、との思いで提案した。

小学校の頃、毎日のように（旧）青谷中央公民館の図書室に行っていた。その後、図書室は青谷町総合支所内に設置され、36,000冊もの蔵書があり、音読教室等のイベントも開催しているが、利用者が減少しているようである。入口がわかりにくい等の課題があるが、見やすい看板の設置等による図書室の存在のPR、学習コーナーの増設、保育園小中学校との連携を密にする等、身近な存在にすることが必要である。利用者を増やしていくことが、長い長い人づくり、町づくりに繋がると思う。

【委員1】みなさんに知ってもらい、たくさん利用してほしいと思う。（月・祝日以外）平日、土日も19時まで開館している。

鳥取市の図書館とオンラインでつながっているので、市内の他図書館の本も借りることが出来るようである。

【委員2】蔵書36,000冊と充実しているが、狭い。ゆったりとしたスペースが必要である。借りるだけで、その場で読むスペースがない。

【事務局】元々、青谷町役場当時の町民ホールであったため、様々な制限があります。

【委員3】移動図書館もあり、図書室の利用が減ったのかもしれない。

その他報告

鳥取県中部地震による被害状況等について

【事務局】住宅、住宅以外それぞれの被害状況を説明しました。

特になし

鳥取西道路全線開通について

【事務局】報道資料をもとに、今後の整備予定等について説明しました。

特になし

防災行政無線デジタル化に伴う、旧機器の回収について

【事務局】回収業者は決まっていますが、来年1月中旬頃より回収させていただく予定です。

【委員1】11月16日から鳴っている正午と夕方のチャイムだが、音が小さい。

【事務局】チャイムは最大音量ではありません。緊急時の放送は最大音量で放送されます。

【委員2】デジタル化以降、行方不明者の検索等の情報は放送されるのか。

【事務局】避難勧告等の放送はしますが、行方不明者の情報についての放送は未定です。

青谷オープン卓球の結果について

【事務局】男女別の参加チーム、大会結果を報告しました。

特になし